

社会福祉法人
 八千代市身体障害者福祉会 会報
 発行責任者：磯崎 節 男
 編集：阿部 裕 一
 事務所：八千代市米本 2429-10
 TEL 047-488-8813
 FAX 047-488-8384
 印刷所：はばたき職業センター
<http://hukushikai.com>

一九七七年十二月日第三種郵便物認可
 二〇二四年二月十六日発行（毎月十八日発行）一・二・三・五・六・七の日発行
 SSKP通巻八二二八号

はばたき

福祉会・

はばたき
 職業センター
 5つの誓い

1. 私たちは、一人はみんなのために、みんなはひとりのために働きます。（支え合いと連帯）
2. 私たちは、どのような環境のもとでも、その人らしい生き方を認め、可能性を信じ、その能力を育む努力を続けます。（生きがいと可能性の追及）
3. 私たちは、いつでもどこでも誰もが安心して暮らせる地域社会をめざします。（心豊かな社会の創造）
4. 私たちは、社会の一員として自ら考え、行動し、前向きに生きる開拓者をめざします。（開拓者としての心得）
5. 私たちは、生命の尊さ・個人の幸せを求めつつ、社会に貢献することをめざします。（幸福の追求と社会貢献）



「笑顔、が何より最高のお礼の言葉です・・・
 「重度障害者見舞い品配布」の場面（3面に記載）」

悠々堅歩

八千代将棋サークル

会長 安部 修之祐

将棋サークルは、会員の相互の親睦と棋力を図ることを目的に昭和50年代に発足しました。活動は福祉センター2階の教養室で毎月第1土曜日と第3土曜日にあります。又、これ以外に場所が空いていれば毎週月・水・土曜日に活動しています。福祉センター祭では、将棋のコーナーを設けてもらい、地域の将棋の交流を図る為に、会員以外の外部から将棋愛好者の対局の場を設けました。残念ながらコロナ禍では中止にせざるを得ない状況でした。

活動内容は専任の講師はなしで、会員各自の自由対局の形式をとり楽しみながら、将棋を指しています。そのほか、会員の棋力の向上を目指して、年2回の将棋大会と詰将棋の出題を行っています。また棋力については当サークルでは独自に四段〜三級の段位を設けて、入会時に本人の申請で、その後の昇段は、将棋大会の成績で決定されます。会員数はピーク時には100名を超えましたが、高齢化とコロナの影響で、この4年間で激減し現在は30名になっています。サークルとしての地域活動は、コロナ以前では将棋駒・盤を持参して、高齢者施設や学童保育所を訪問して高齢者・子供たちに教えてきました。しかしコロナの影響で、これらは中止になっています。将棋はボケ防止の頭の体操ゲームです。興味がある方は、この機会に、是非挑戦して、生活の中で将棋を楽しんでみませんか。

視覚障害者サポート体験講座が

行われています。

福祉会では昨年 12 月 9 日(土) から「視覚障害者サポート体験講座」を開講しています。障害者福祉センターで、1 回 2 時間の講座を土曜日に月 3 回のペースで 3 月 2 日まで、全 9 回行われます。この講座では視覚障害者をサポートするための「アイマス」ガイドヘルプ「朗読」点字」を体験し、支援に対するきっかけ作



りを行うこと、また視覚障害や日常生活の理解・啓発を広めることを目的に行っています。今年度は 11 名が受講しており今月号ではその内容を少し紹介します。

名前の通り「視覚障害者サポート体験講座」ということで視覚障害の概要はもちろん、当事者の講話、盲導犬、目と耳の不自由な方の話、生活用具の紹介、点字やアイマス体験まで幅広い内容で行われます。講師は視覚障害者総合支援センターちばの石川龍海氏を中心に行っています。当事者ならではの様々な体験や楽しい講話が満載です。その他盲導犬ユーザーの話、目と耳の不自由な人等の専門的な支援内容や、支援技術を学ぶ時には、それぞれの当事者や支援者・専門家が講話を行います。

福祉会ではこれまで長期間にわたってこの講座を行っており、時間の経過と共に内容を検討し充実させてきました。当初は点訳講座として講師 1 名と補助員 2 名で点字に特化した講座でしたが、毎年受講生からアンケート協力をお願いいただき、視覚障害に関する内容を幅広く扱う講座に変化させてきました。昨



今では充実した内容になるよう、前半は障害についての知識や理解を深め、後半にその知識を活用しながら体験・支援技術を学ぶ、最終日にはディスプレイ形式で座談会を行う機会も設定し、充実した内容になるよう進め方も変わってきています。また実際に見えない人がスマホを使う、オセロで対戦をする、視覚障害者のクイズ問題を取り入れる等、以前の講話中心の内容から全員参加型の講座へと変わりました。視覚障害者がスマホ操作やオセロをするの!? という意見がある中で、どのように操作しているのか、盤面をどのように状況判断するのかを実際に見ていただくことは貴重な機会であり、より理解が深まることでしょう。この講座では、7 回以上出席した受講生へ修了証を発行することとしています。

今年度の受講生(定員 12 名) は男女 11 名。初回に自己紹介をしてもらいましたが「親族に目の不自由な人がいる、自分も病気の疑いがある、福祉に興味がある、町で視覚障害者を見た、支援者として貢献したい」等々、環境も受講動機も十人十色でした。質疑応答の場面では毎回たくさん質問があり、受講生が驚きや感心するシーンが数多く見受けられます。毎回疑問を持って受講するその有意義な姿に、担当者も頼もしいと感じると共に大いに期待も高まっています。受講生はそれぞれの目的でこれからもたくさんの方を感じ・学び・気付き・身につけていくことでしょうか。受講生の皆さん最終回まで頑張ってください！

※講座の様子をホームページのフェイスブックでも紹介しています。

はばたき 歳時記

★プリムラ・チューリップ苗販売会をおこないます!



2 月も終盤に差し掛かり、草花が芽吹く季節になってきました。今月も草花の販売会をユアエルム京成八千代台様のご協力を頂き開催いたします。プリムラやチューリップなど春を感じることできる草花をたくさんご用意して皆さまのご来場をお待ちしております。

施設(八千代市米本)でも直売しておりますので、是非お立ち寄りください。
 場所: ユアエルム京成八千代台店 1 階
 千葉銀行横バス停前入口
 期間: 2 月 23 日(金) ~ 3 月 1 日(金)
 時間: 10 時 ~ 15 時

★印刷のご注文お待ちしております

年度末に向けて各種印刷物のご注文を承ります。自治会の議案書・名簿・総会資料などお見積もり致しますので、ご相談ください。その他広報紙・チラシ・パンフレット・名刺・封筒・はがき等、皆さまからのご用命をお待ちしております。

【お問い合わせ】はばたき職業センター

電話 047-4888-8813
 FAX 047-4888-8384

1月の足跡

◇ フォローアップ講座開講！

1月10日(水)
からフォローアップ講座がスタートしました(全10回)。



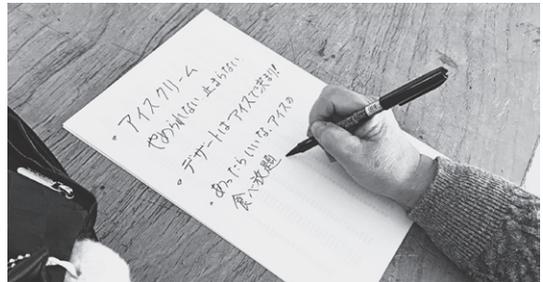
この講座は、手話奉仕員養成講座入門および基礎コースを修了された方々が対象です。次のステップである手話通訳者養成講座通訳Ⅰ・Ⅱ・Ⅲへ進む前に習得した手話表現技術などをより深めるための内容になります。受講生は10名。「手話表現の角度など細かく指摘され、難しかった！」などの感想もありましたが、皆さん最後まで頑張ってください。

◇ 笑顔の集い&新年交流会！

1月26日(金) 障害者福祉センターで新年交流会を笑顔のつどいとコラボで行いました。開会の挨拶後に参加者全員がみんなの前で今年の抱負を発表し「健康に留意し、感謝しながら毎日を受け入れたい。今年は皆勤賞を目指します」等とありました。その後は豪華景品を贈りたぐいずで盛り上がりました。今年も1年間元気に笑顔で活動しましょう……。

◇ 書いて、楽しむ！

1月22日(月)
新年の挨拶から第5回筆談会が始まりました。



今回は新年会を兼ねクイズを行いました。「富士山」「推しの食べ物」「八千代市」についてキヤッチコピーを考える！など、数多くの考案が上がり、発表の場面では笑いあり、うなずきあり、おまけにお土産の差し入れあり！と楽しい時間を過ごしました。

◇ 令和5年度在宅重度障害者

見舞い品の配布……

千葉県共同募金会(「村上市しずく福祉基金」事業)様より千葉県身体障害者福祉協会を通じ、見舞い品を受け取り、市内在宅の重度障害者17名へ配布しました。毎年、お心遣いに感謝いたします。

身障相談

毎月末、金曜日を身障相談日と設定し、日々の悩みを共有できる場としています。相談員は障害当事者に担当していただいております。ぜひご利用下さい。
※現在新型コロナウイルスの感染状況から連絡は「きらめき支援センター」へ

わたしの暮らし

八千代で暮らす車イス常用者から生活体験談などをシリーズで掲載します。

災害時の不安や困りごと

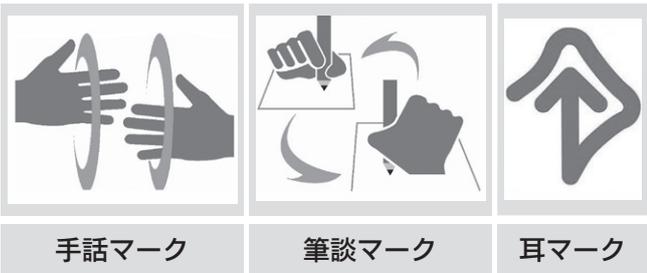
1月に大きな災害がありました。東日本大震災での経験により、日ごろから水やレトルト食品の備蓄、携帯電話のモバイルバッテリー、カセットコンロはすぐ使用できるか確認するようになりました。お風呂の水もなるべく長く溜めてあります。また停電を経験した際、手に持つ懐中電灯では車椅子をこぎつらいことも分かり、ヘッドライトを準備するようにしました。服薬が無くなっても、すぐ病院を受診で

きませんでした。そのため事情を話し処方箋を書いて郵送してもらい、別の薬局で薬をもらったこともありました。災害は、いつどのような形で起こるかわかりません。私自身も一人の際、避難所へ行くにはどうしたらよいか？ マンションのエレベーターが動かなかつたら誰に連絡すればよいか？ わからないことも多々あります。日ごろよりハザードマップを見たりして身近な人と災害時の話をするのも大切かもしれません。被災地の1日も早い復興をお祈りします。

手話にふれてみよう！

手話は言語です！ あいさつ編

八千代市手話言語・障害者コミュニケーション条例
令和元年9月30日施行



手話マーク

筆談マーク

耳マーク



お待ちください

4本の指の背を
あごの下にあてます。

きらめき支援センター

手話通訳者設置事業 FAX/TEL 047-485-8822
E-mail: hukusikai.setti@kind.ocn.ne.jp



八千代市身体障害者福祉会 Facebook → 動画を選択
(動画協力：八千代市聴覚障害者協会)

福祉 あら カルト情報

★『筆談公』&『要約筆記体験公』開催のお知らせ！

今年度最後の第 6 回筆談会は、「筆記ボードを作ってみよう」と題して開催します。また要約筆記に関心がある方の体験会を併せてはじめての方、興味がある方も大歓迎です！みんなで楽しい時間を過ごしましょう……。

日時 3月25日(月) 13時～
場所 八千代市福祉センター4階

★視覚障害者向け福祉機器展開催！

この展示会では「More convenient life」として「便利な生活」をテーマに、視覚障害者向けの補装具や日常生活用具・便利グッズなどを展示します。是非、お立ち寄りください。

日時 4月20日(土) 11時～15時
場所 視覚障害者総合支援センター4階
四街道市四街道1-9-3
(JR四街道駅より徒歩3分)
問合せ 視覚障害者総合支援センター
TEL 043-420-8763
FAX 043-424-5179

★しゅわで ひなまつり！

難聴児を育てた経験についてのミニパネルディスカッションやしゅわりズム遊びなどを行います……。

日時 2月24日(土) 14時～16時
場所 八千代市福祉センター2F
対象者 難聴児およびその家族など
問合せ shuwa.deasobo@gmail.com

★ぼらりすフェスタ

小児科医によるミニ講義や医療・看護・福祉、摂食相談コーナー、防災コーナー、装具の展示など沢山の催し物があります……。

日時 3月3日(日)
①12時半～13時45分
②14時45分～16時

※入場入れ替え制・各回10～15家族
場所 千葉リハビリテーションセンター
大ホール
対象者 千葉県内在住の重症心身障害児者・医療的ケアが必要な子供および成人の方

問合せ 千葉医療的ケア児等支援センターぼらりす
TEL 043-291-1831
アドレス polaris@chiba-teh.jp

★キッズフェスタ2024

子どもの福祉用具展が開催されます。遊具や訓練具、車椅子にバギー、アイデアグッズなど子どものための展示会です。

日時 4月20日(土) 10時～17時
4月21日(日) 10時～16時
場所 TRC東京流通センター
第一展示場 ABCDホール
※東京都大田区平和島6-1-1

主催 S.P.ビームス(株)

※問合せについては主催者ホームページから問合せください

本紙の問合せ・情報提供・行事申込は、
身障福祉会・きらめき支援センター
TEL 485-1245
FAX 485-1329 まで

峰嶋編集委員が行く フットワーク

小学生の娘と2人暮らしのAさん。難病と上手く付き合っている方だ。昨年4月、Aさんから「子どものために少しでもお金を稼ぎたい」との相談を受け、幾つか就労継続支援B型事業所の見学を行い利用に至ったケースになる。その後は、モニターリング時に状況を伺い順調に生活していた。

そんなAさんが、昨年11月、自宅で倒れ八千代医療センターへ緊急搬送されたことと連絡を受けた。詳細は、「心筋梗塞により心停止、蘇生するまで時間が掛かったため昏睡状態にある」とのことだった。すぐに、各関係機関と連携を図り娘は親族の方に対応いただき、各事業所の調整等を行った。

現在、Aさんは昏睡から覚醒し急性期病院から回復期病院に転院した。転院後、病院担当者から連絡を受け、自宅に帰ることを目標にリハビリを頑張っている、この話しを受けた。

今後、相談支援専門員としてAさんの希望や要望に寄り添い、娘と一緒に暮らしていた生活に戻すため努力したい。

今月の動き

- 19日 地域生活支援はばたき編集会議
- 21日 フォローアップ講座 (毎週)
- 22日 書道講座
- 24日 視覚障害者サポーター体験講座
- 26日 福祉センター利用団体会議
- 27日 事業間連絡会議
- 29日 障害者虐待防止権利擁護研修
- 《2月》
- 2日 視覚障害者サポーター体験講座 (閉講式)
- 5日 派遣通訳者会議
- 6日 フォローアップ講座
- 14日 ガイドヘルパー会議

集後

ある会合の休憩時間に精神疾患を患う方としゃべっていた……仕事でのストレスから疾病を患い、次の更新期には現在住んでいる所に住み続けられるかの不安に駆られていた……運転を何十年もしていない、仕事も考えなければ……生きているだけでも日々ストレスはあるよねー等々……支援方法の一つとしてグループホームの利用と伝えると本人は違っていた……地域の中でごくごく普通に生活したいの思いがあった……数分間のたわいのない会話であったが、その中にも大切な気づきが潜んでいると感じた瞬間だった……。(こたけ)



この紙ははばたき職業センターで印刷しております
印刷・編集の費用ははばたき職業センターまで